

事業活動報告（‘18.4～‘19.3月）事業所名：第二かめおか作業所

1.2018年度 事業所方針
①『わたしらしくはたらく』をめざします。 ②『みんなと一緒に！“つながる”集団』をめざします ③生活・健康を守る支援をすすめます。 ④“チーム2かめ（集団）”で支える質の高い職員集団をめざします。 ⑤ビジョン2018『第二かめおか作業所新築移転事業』の具体化をめざします。
2.利用者・職員状況
<利用者> ・定員：35人 ・現員：32人（男性：16人、女性：16人）…他事業所併用利用2人 ・平均年齢：41歳（20歳～76歳） <職員> ・17人 正規：支援員4人、所長、主任、 非正規：支援員7人、調理員2人、看護師1人（2日/週）、マイクロバス運転手朝夕1人
3.実践内容と成果
○旅行のとりくみ（1泊6、7月 / 日帰り11月） ・1泊…2グループに分かれて実施。支援体制の関係から旅行以外の方は事業所休み。 ・日帰り…2グループ。希望者及び都合で1泊に参加できなかった方。事業所は通常。
○きょうされん全国大会（9月）への参加 ・19年ぶりの京都での大会に障害の重い第二かめおか作業所のメンバーも全員で参加しよう、全国の仲間と楽しくつながろうを目標にしました。環境調整等の事前準備に多くの時間を割くことにはなりましたが、ほぼ全員が2日間を元気に参加することができ貴重な経験となりました。
○仕事について ・前半は諸行事に向かう取り組みが多く、仕事との双方をあわただしく組み立てる状況でした。とりわけ前年度までに拡大してきたリサイクル資源回収、その処理作業は猛暑、酷暑とも相まって目を見張るものがありました。みんなで力を合わせてやり切ることを目標に取り組みました。 ・後半は行事も終えじっくりと身近な仕事や活動に向かう実践に取り組みました。恒例の『ボーナス取り組み』では、「わたしとみんなの“仕事”や“お給料”」について考え、話し合う機会を数回設け、ことばや描く（絵や文字）ことで表現し、伝えることを、私らしく働く取り組みの一つとして位置付けました。今後も働きがいとリンクさせる重要な取り組みとして継続していきたいと思えます。
○職員等の状況について ・亀岡市障害者虐待防止センターへの2度の通報がありました。審査の結果「虐待とは認定できない」との判定でしたが、障害のある人への支援について常に振り返り学んでいく事の重要性や共に議論し確認しながら実践していく事の大切さを改めて共通認識したところです。 ・2人の病気による休職者がありました。10月～女性1人（1月復帰）。11月～男性1人（3月末日継続中）。利用者の重度化、高齢化の上に職員不足があり、日常的に過緊張の状態が続いています。メンタルヘルスにおけるストレスチェックでも高ストレス者が多い事業所との結果が出ました。「もう

少し余裕のある環境の中でゆったりと実践に向かいたい」との声もあり、働きやすい職場環境調整、風通しの良い職員集団づくり等については創意工夫し改善の努力をしていくことが急務です。

4 次年度への課題とそれに対する取り組むべき具体的な実践内容

- ・障害の重度化、高齢化に伴うその状況にあった支援のあり方を広く関係者と連携して学び、命を守り育み、つなぐ実践を強めていきます。
- ・その人らしい「働くこと」「生活すること」についてより丁寧な取り組みを進めます。
- ・職員間の報告、連絡、相談をいっそう密に意思統一を図りながら誇りある実践を進めます。職員集団の中での風通しの良さ、地域に開かれた事業所づくりをめざします。
- ・建物の老朽化による修繕箇所が多くみられています。利用者が安全に過ごせる環境整備の観点からも、改修や新築移転など、ビジョンの具体化が急がれます。
- ・労働環境の調整について、労働安全衛生委員会と連携しながら一層の創意工夫の中で気持ちよく働ける職場づくりを目指します。